

3・4年「わくわくドキドキ こわいもの」

	書名	著者名	出版社	内容
1	こわいドン	武田美穂 作	理論社	ぼくはとってもこわがりなんだ突然冷蔵庫がなり出したり、階段がギシッと鳴ったり…。これはみんな「こわいドン」のしわざなんだ。
2	落語絵本 ばけものつかい	川端誠	クレヨンハウス	大きなお店のごいんきょさんが、古いお屋敷に引っ越してきた。そこはおばけ屋敷とうわさの高い所だ。ごいんきょさんは、日替わりで出てくるおばけに、次から次へと仕事をさせていると…。
3	シルカ小学校の ブキミともだち 大足くんのぴか ぴかスニーカー	末吉暁子 作 原ゆたか 絵	偕成社	シルカ小学校にはおばけが出るとか。音楽室のハイトン、屋上の目かくしおばけ、保健室のアカチン。靴箱の大足。不気味だね。
4	耳なし芳一	小泉八雲 原作 船木裕 文 さいとうよしみ 絵	小学館	「平家物語」を琵琶(びわ)で語ることが上手な芳一。盲目の芳一は、亡霊に連れられて、毎晩平家の墓の前で、悲しい物語を語っていた。それを知った和尚は、芳一を守るためどうするか？
5	アラジンと 魔法のランプ	アンドルー・ラング 再話 エロール・カイン 絵 中川千尋 訳	ほるぷ出版	アラジンは、一目見たお姫様にたちまち心をうばわれてしまった。家に帰るなり、お母さんに、「お姫様なしでは生きられない。どうか皇帝に結婚を申し込んでくれ。」と頼んだ。本当に結婚できるのだろうか？